

2016年2月3日 水曜日

第13回

地域医療連携懇談会を開催しました！！

開会のご挨拶：院長 高津司

司会：内科 小野寺晴子医師

講演：救急部長 松永伸一医師

2016年2月3日、第13回みさと健和病院地域医療連携懇談会を開催致しました。
今回は初の試みで平日夜間に開催し、84人と多数の方にご参加いただきました。

講演会は、当院救急部長の松永伸一医師より「みさと健和病院 ERの現状について」という演題で行われました。まず当院のER体制・現状の紹介がありました。当院ERでは、救急搬送・ウォークイン患者の診療、患者サポートセンターを通してご紹介があった患者さんの初期対応を行っています。救急車は原則疾患・症状によって断らない医療を目指しています。救急搬入台数は183件/月、救急応受率は80%前後となっています。近隣医院からのご紹介は半年で107院所、353名のご依頼をいただきました。

後半は、ERを受診した症例の提示を行いました。大動脈解離・義歯の誤嚥、顔面神経麻痺のみで受診した脳梗塞などが、画像と共に紹介されました。

質疑応答では、ER受診される方の疾患内訳について質問をいただき、高齢者の肺炎が最も多いとの回答でした。

講演会終了後の懇親会にも、院内外より多数の先生方に参加していただきました。
私個人としても、各先生方に高血圧診療（原発性アルドステロン症疑いの頻度など）の経験をお聞かせいただくなど、実りある会になりました。ご参加くださいました来賓の方々、
先生方に改めてお礼申し上げます。 内科医 小野寺晴子